NX-SIP クライアント

※本書の操作説明および画面例には、GALAXY S SC-02B を使用しています。
スマートフォンの機種によっては操作・画面例が異なる場合がございます。

目次

１． 特長 3
１.１ ＮＸ-ＳＩＰクライアントとは 3
１.２ 主な機能 3
１.３ システム要件 3
１.４ 本アプリケーションの動作について 4
２． インストール・アンインストール 5
２.１ 提供元不明アプリケーションインストール許可 5
２.２ 当社ホームページからのインストール 6
２.３ ＵＳＢからのインストール 7
２.４ アンインストール 9
２.５ バージョンアップ 11
３． 各部の名称と機能 12
４． 設定 14
４.１ 主装置へ登録する 14
４.１.１ 簡易設定 14
４.１.２ 無線／ネットワーク設定 16
４.２ 設定一覧 17
５． 操作方法 19
５.１ 発信する 19
５.１.１ ダイヤル入力して発信する 19
５.１.２ 電話帳／通話履歴から発信する 20
５.２ 着信に応答する 21
５.３ 通話を保留・転送する 22
５.４ 受話音量・マイクボリュームを調整する 23
５.５ その他機能について 24
５.５.１ ＮＸ-ＳＩＰクライアント終了後も着信を受ける 24
５.５.２ スマートフォンのダイヤラーからＳＩＰ内線端末として発信する 26
５.５.３ 発信先選択で設定した発信方法が使用できないとき 29
５.５.４ 外線特番自動付加設定 31

1. 特長

1.1 NX-SIPクライアントとは

NX-SIP クライアントは、スマートフォン（Android 端末）上で動作するアプリケーションで、αNX システムの主装置（TypeL、TypeS/M）に SIP 端末として内線収容し、発信、着信、通話などを行うことができます。

1.2 主な機能

NX-SIP クライアントの主な機能

●外線／内線発信　●外線／内線着信
●外線／内線通話　●保留
●転送

1.3 システム要件

NX-SIP クライアントは、次のシステム要件を満たすスマートフォンでご利用できます。

対応機種	システム要件	
GALAXY S SC-02B	OS	Android2.3
	空きメモリ容量	約 15MB 以上
REGZA Phone T-01C	OS	Android2.2
	空きメモリ容量	約 15MB 以上

1.4 本アプリケーションの動作について

●文字入力アプリケーションとしてATOKを使用している場合、設定値の入力は1文字入力するごとに確定する必要があります。確定せずに入力を続けると正しく入力することができません。
また、ATOK に限らず半角文字入力時、確定前状態（入力文字にアンダーバーが付いている状態）で次の文字入力が継続できる文字入力アプリケーションにおいても同様となります。
例：“a”の状態から“abc”と入力し、最後に確定することで“abc”と入力可能な方式。

●文字入力アプリケーションとしてATOKを使用している場合、設定値の最終文字入力時にカーソルが点滅し、決定した場合に正しく入力されない場合があります。最終文字入力時は、後変換をタップし表示された候補から入力文字を選択して下さい。

●NX-SIP クライアントを終了するときはダイヤラー画面でホームボタン、バックボタン、アプリケーションのメニューから「終了」を選択して下さい。
設定やヘルプ画面でホームボタンによるホーム画面への移動ではアプリケーションは終了していないため、設定が反映されません。

●Wi-Fi スリープ中に着信があった場合、アクセスポイントで着信情報を保持しスリープ解除時（画面ONなど）に送信するため、一瞬着信状態になり着信履歴が残ることがあります。
本事項は以下条件で起こります。
・スマートフォンのWi-Fi スリープ設定が「スリープにしない※」以外に設定
・NX-SIP クライアントのWi-Fi ロックモードがOFFに設定
※設定名称は機種により違う場合があります。

●GALAXY S SC-02BにおいてAndroid OSのバージョンによって予期せぬ動作をすることがあります。
Android OSはバージョン2.3での利用をお願いします。

●主装置TypeLのバージョンがV4以前の場合、以下の機能制約があります。
・保留操作しても通話状態のままとなりますが、相手端末は被保留状態となるため無音になります。保留解除するにはオンフックし、呼び返し着信に応答して下さい。
・保留操作を行っても通話状態のままとなるため、転送機能は使用できません。
・相手端末が保留しても通話状態のまま無音となります。(相手端末が保留解除することで通話は継続できます)
また、被保留状態のとき、V4以前は「通話中」、V5は「保留中」が表示されます。
・NX-SIP クライアントどうしで通話中に保留操作を行っても通話が継続します。ただし、終話(オンフック)を保留操作した端末から行うと呼び返し着信となりますので、応答後にオンフックし終話して下さい。

●Buletoothヘッドセットはご使用になれません。

2. インストール・アンインストール

2.1 提供元不明アプリケーションインストール許可

NX-SIP クライアントをインストールするには、スマートフォンの設定で提供元不明アプリケーションのインストールを許可して下さい。

手順①
・スマートフォンのメニューボタンを押下する。
・画面に表示された「設定」をタップする。

手順②
・「アプリケーション」をタップする。

手順③
・「提供元不明のアプリ」をタップし、チェックする。
※注意ダイアログが表示された場合は「OK」をタップする。

2.2 当社ホームページからのインストール

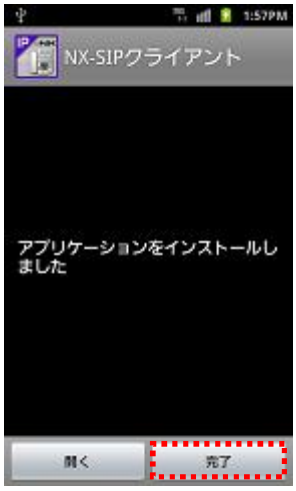
当社ホームページから NX-SIP クライアントをインストールします。

手順①
スマートフォンのブラウザから NX-SIP クライアントのダウンロードサイトにアクセスし、インストールファイルをダウンロードする。

手順②
ダウンロード完了後、NX-SIP クライアントインストールファイルをタップする。

手順③
「インストール」をタップし、インストールを開始する。

手順④
「完了」をタップする。



インストール後にバージョンを確認するには以下の手順で行って下さい。
NX-SIP クライアント起動→メニューボタン押下→[ヘルプ]

2.3 USBからのインストール

パソコンとスマートフォンを USB ケーブルで接続してインストールします。
この方法でインストールする場合、パソコンに USB ドライバのインストールが必要なことがあります。USB ドライバについては NTT docomo のサポートなどにお問い合わせ下さい。

手順①
・スマートフォンとパソコンを USB ケーブルで接続する。
　USB 接続のステータス表示を確認する。

手順②
・ステータスバーをスライドする。
・「USB が接続されています」をタップする。

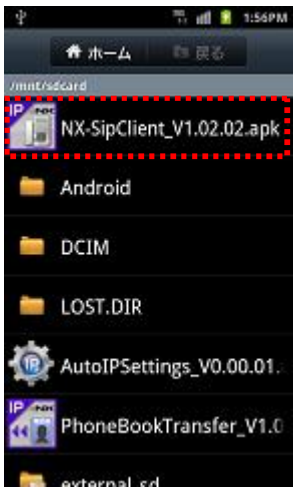
手順③
・「ユーザーメモリ (本体) を ON にする」をタップする。
・パソコンに USB ストレージが追加されるため、USB ストレージに NX-SIP クライアントのインストールファイルをコピーする。

※NX-SIP クライアントのインストールファイルはあらかじめパソコンに保存しておいて下さい。

手順④

・ファイルをコピー後、「ユーザーメモリ(本体)を OFF にする」をタップする。

・手順③の画面が表示されるため、ホームボタンを押下して終了する。



手順⑤

・ファイルマネージャーを使用し、パソコンからコピーしたファイルをタップする。

※画面は GALAXY S SC-02B のファイルマネージャー「マイファイル」の例です。

※スマートフォンの機種によっては、ファイルマネージャーがインストールされていない場合があります。その場合はマーケット等からファイルマネージャーアプリケーションをインストールして下さい。

以降は 2.2 節の手順③以降と同様です。

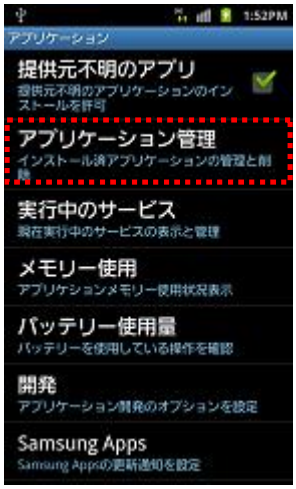
※USB ケーブル接続時、ステータスバーに USB 接続状態が表示されない場合、USB 設定を「カードリーダーモード」に変更して下さい。
USB 設定はスマートフォンの取扱説明書をご確認下さい。

2.4 アンインストール

NX-SIP クライアントのアンインストールは以下のように行います。

手順①
・スマートフォンのメニューボタンを押下する。
・画面に表示された「設定」をタップする。

手順②
・「アプリケーション」をタップする。



手順③
・「アプリケーション管理」をタップする。

手順④

・「NX-SIP クライアント」をタップする。

手順⑤

・「アンインストール」をタップする。

・確認画面で「OK」をタップする。

手順⑥

・アンインストール完了画面で「OK」をタップする。

2.5 バージョンアップ

バージョンアップは前バージョンをアンインストール後、新しいバージョンをインストールして下さい。アンインストールせずにバージョンアップした場合、正常に動作しないことがあります。
インストール、アンインストール手順は 2.2 節、2.3 節、2.4 節を参照して下さい。

3. 各部の名称と機能

登録状態アイコン
主装置への SIP 登録状態を表示します。

ダイヤル表示エリア
入力したダイヤルを表示します。

ダイヤルキー
電話番号を入力するときに使用します。

オンフックボタン
通話を終了するときに使用します。
入力したダイヤルを全消去するときに使用します。
着信中に着信を停止するときに使用します。

クリアボタン
入力したダイヤルを 1 文字消去するときに使用します。

オフフックボタン
電話をかけるときや受けるときに使用します。

通信状態アイコン
発信中、着信中、通話中、保留中に表示します。

状態表示
発信中、着信中、通話中、保留中の状態を表示します。

電話帳登録情報表示
電話帳に相手の方の電話番号登録がある場合、名前、種別、画像を表示します。

電話番号表示
相手の方の電話番号を表示します。

ダイヤルパッドボタン
通話中のダイヤル入力時に使用します。

電話帳ボタン
電話帳から発信先を選択するときに使用します。

保留ボタン
通話を保留するときに使用します。

設定
NX-SIP クライアントの設定を行うときに使用します。

ヘルプ
NX-SIP クライアントのバージョンを表示します。

終了
NX-SIP クライアントを終了します。

スピーカー
スピーカーで相手の音声を聴くときに使用します。

ミュート
送話をミュートするときに使用します。

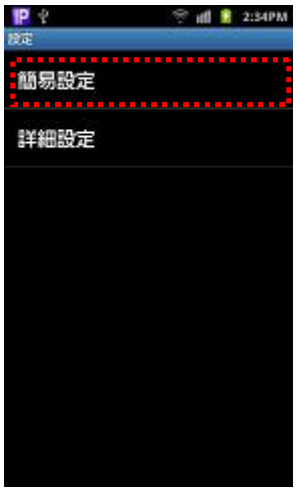
4. 設定

4.1 主装置へ登録する

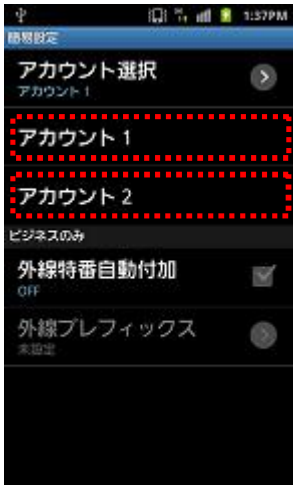
4.1.1 簡易設定

NX-SIP クライアントを SIP 端末として登録するための設定を行います。

手順①
・NX-SIP クライアントを起動し、スマートフォンのメニューボタンを押下する。
・画面に表示された「設定」をタップする。



手順②
・「簡易設定」をタップする。



手順③
・「アカウント 1」または、「アカウント 2」をタップする。

手順④

・「アカウント名」をタップし、アカウント名を入力し OK をタップする。
・「ユーザネーム」をタップし、登録する内線番号を入力し、OK をタップする。
・「パスワード」をタップし、認証パスワードを入力し、OK をタップする。（必要な場合のみ使用します）
・「サーバアドレス」をタップし、SIP サーバのアドレスを入力し、OK をタップする。
・「サーバポート番号」をタップし、SIP で使用するサーバポート番号を入力し、OK をタップする。
・バックボタンを押下する。

手順⑤

・「アカウント選択」をタップし、使用するアカウントを選択する。

※手順④でアカウント名を設定しているとき、「アカウント 1or2」は設定したアカウント名となる

手順⑥

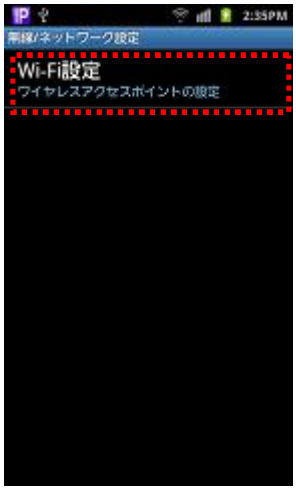
・「外線特番自動付加」をチェックし、「外線プレフィックス」タップし値を入力し、OK をタップする。
外線特番自動付加の詳細は 5.5.4 節を参照下さい。

4.1.2 無線／ネットワーク設定

NX-SIP クライアントの設定「無線/ネットワーク設定」より Wi-Fi 設定を行います。本設定はスマートフォンの Wi-Fi 設定を呼び出しているため、設定方法の詳細はスマートフォンの取扱説明書をご確認下さい。

手順①
・NX-SIP クライアントを起動し、スマートフォンのメニューボタンを押下する。
・画面に表示された「設定」をタップする。
・「詳細設定」をタップする。

手順②
・「無線/ネットワーク設定」をタップする。



手順③
・「Wi-Fi 設定」をタップし、必要な設定を行って下さい。

4.2 設定一覧

NX-SIP クライアントの設定から各設定画面を呼び出すことができます。

設定項目		設定内容	簡易設定	詳細設定
SIP 設定	アカウント選択	使用するアカウントを選択します。	○	○
アカウント1 or アカウント2	アカウント名	アカウントの名前を設定します。	○	○
	ユーザネーム	主装置に登録する内線番号を設定します。	○	○
	パスワード	登録に使用するパスワード設定します。	○	○
	サーバアドレス	サーバのアドレスを設定します。	○	○
	サーバポート番号	サーバのポート番号を設定します。	○	○
VoIP 設定	RTP ポート番号	RTP(音声)のポート番号を設定します。		○
音声設定	エコーキャンセラー	エコーキャンセラーの ON/OFF を設定します。		○
	Echo Tail Length	Echo Tail Length を設定します。		○
	受話音量調整	受話音量を設定します。		○
	マイクボリューム調整	マイクボリュームを設定します。		○
	受話音量基準値	受話音量の基準設定をします。		○
	マイクボリューム基準値	マイクボリュームの基準設定をします。		○
	揺らぎ制御	揺らぎ制御を設定します。		○
	蓄積パケット数	揺らぎ制御が固定設定時の蓄積パケット数を設定します。		○
発信設定	発信先選択(スマートフォン)	スマートフォンのダイヤラーから発信するときの発信方法(選択/3G/SIP)を設定します。		○
	迂回発信(スマートフォン)	発信先選択(スマートフォン)で指定した発信方法が使用できないときの迂回発信確認のあり／なしを設定します。		○
	発信先選択(アプリケーション)	アプリケーションのダイヤラーから発信するときの発信方法(選択/3G/SIP)を設定します。		○
	迂回発信(アプリケーション)	発信先選択(アプリケーション)で指定した発信方法が使用できないときの迂回発信確認のあり／なしを設定します。		○
	外線特番自動付加	発信時の外線特番自動付加の ON/OFF を設定します。	○	○
	外線プレフィックス	発信時、ダイヤルの先頭番号により外線プレフィックスを付加して発信します。	○	○
	付加指定先頭番号 0～9	外線プレフィックスを付加する先頭番号を設定します。		○
着信設定	着信音選択	着信音を設定します。		○

設定項目		設定内容	簡易設定	詳細設定
動作モード設定	常駐モード	NX-SIP クライアント終了時に主装置登録を解除する／しないを設定します。		○
	Wi-Fi ロックモード	画面が OFF などになったときに Wi-Fi をスリープしないようにするときに設定します。		○
	Wi-Fi 自動 ON	アプリケーション起動時に Wi-Fi が OFF のとき、自動的に ON にする設定をします。		○
QoS 設定	QoS	QoS を使用する／しないを設定します。		○
	DSCP (SIP)	SIP の DSCP を設定します。		○
	DSCP (RTP)	RTP の DSCP を設定します。		○
無線／ネットワーク設定	Wi-Fi 設定	Wi-Fi の設定をします。		○

5. 操作方法

5.1 発信する

5.1.1 ダイヤル入力して発信する

NX-SIP クライアントを起動し、電話番号をダイヤル入力し、 ボタンをタップすることで発信を行います。

ダイヤル入力を間違えた場合、 ボタンをタップすることで 1 文字消去することができます。

全消去する場合は ボタンをタップして下さい。

発信をキャンセルする場合は ボタンをタップして下さい。

相手の方が応答したら、通話します。

通話を終了する場合は ボタンをタップして下さい。

※発信履歴はスマートフォンの履歴に保存されます。
※通話中にスマートフォンの音量ボタンで音量調節が可能です。
　音量ボタンについては、スマートフォンの取扱説明書をご確認下さい。
　音量調整の詳細は 5.4 節を参照して下さい。

5.1.2 電話帳／通話履歴から発信する

NX-SIP クライアントを起動し、

ボタンをタップすることで電話帳メニューダイアログが表示されます。

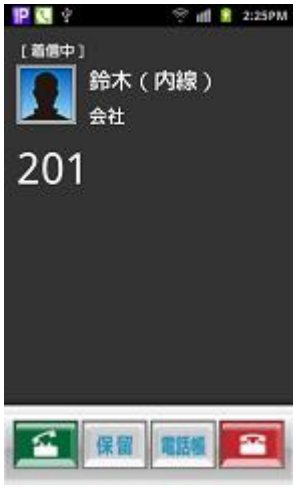
通話履歴をタップして下さい。
※電話帳をタップするとスマートフォンの電話帳が開きますので、発信先を選択して下さい。

発信する通話履歴をタップして下さい。
選択した電話帳／通話履歴の電話番号がダイヤル入力エリアに表示されますので、
ボタンをタップし発信します。

※通話履歴画面にはスマートフォンの履歴を最新から最大 500 件表示します。
※表示内容は、電話番号、電話帳の名前、発着信日時です。
・非通知着信時は電話番号に「非通知」が表示されます。
・電話帳にない電話番号は名前に「名前なし」が表示されます。
・各アイコンは以下の状態を表します。

着信(未応答)　 着信(応答)　 発信

5.2 着信に応答する



着信すると相手の電話番号が表示されます。また、電話番号が電話帳に登録されている場合、登録されている名前が表示されます。
非通知の着信時は電話番号に「非通知」が表示されます。

着信中に ボタンをタップすることで応答できます。

着信を停止したいときは ボタンをタップすることで着信拒否できます。

通話を終了する場合は ボタンをタップして下さい。

※着信履歴はスマートフォンの履歴に保存されます。

通話中に ボタンをタップし、ダイヤル入力することで DTMF 信号を送信することができます。

5.3 通話を保留･転送する

通話中に 保留 ボタンをタップすることで通話を保留できます。

保留中に 保留 ボタンをタップすることで保留を解除できます。

保留中のダイヤル画面で転送先の電話番号を入力、あるいは電話帳／通話履歴から相手先を選択し、 ボタンをタップすることで転送先に発信することができます。

転送先へ発信中に ボタンをタップすることで、呼出状態転送されます。

※転送先への発信中に 保留 ボタンをタップすることで発信を停止し、保留を解除することができます。

転送先が応答したら、転送することを伝え、 ボタンをタップすることで通話中転送されます。

※転送に失敗した場合、呼び返し着信しますので応答し、再度転送操作を行って下さい。

※転送先との通話中に 保留 ボタンをタップすることで転送先との通話を切断し、保留を解除することができます。

5.4 受話音量･マイクボリュームを調整する

受話音量、マイクボリュームは「受話音量基準値」「受話音量調整」「マイクボリューム基準値」「マイクボリューム調整」により設定を行います。
受話音量、マイクボリュームは『基準値＋調整値』により決定されます。
受話音量基準値、マイクボリューム基準値はレベルの増減が大きく、受話音量調整、マイクボリューム調整はレベルの増減が小さい設定となっています。
受話音量調整、マイクボリューム調整はスマートフォンの音量ボタンにより変更できます。
設定は以下の手順で行います。

手順①
・NX-SIP クライアントを起動し、スマートフォンのメニューボタンを押下する。
・画面に表示された「設定」をタップする。
・「詳細設定」－「音声設定」の順にタップする。

手順②
・「受話音量基準値」をタップし、スライドさせて値を設定する。

・「マイクボリューム基準値」をタップし、受話音量基準値と同様にスライドさせて値を設定する。
※設定する際は内線通話などを行い適正値を設定して下さい。

・「受話音量調整」「マイクボリューム調整」も同様に設定する。
※受話音量調整、マイクボリューム調整は通話中に音量ボタンにより音声設定変更の設定バーを表示させ変更することができます。

5.5 その他機能について

5.5.1 NX-SIPクライアント終了後も着信を受ける

NX-SIP クライアントを終了後も着信を受けるには「常駐モード」を ON に設定して下さい。初期値は ON になっています。

手順①
・NX-SIP クライアントを起動し、スマートフォンのメニューボタンを押下する。
・画面に表示された「設定」をタップする。
・「詳細設定」をタップする。

手順②
・「動作モード設定」をタップする。

手順③
・「常駐モード」をタップし、チェックする。

※スマートフォンの Wi-Fi スリープ設定が有効になっているとき、画面 OFF 状態になると Wi-Fi がスリープし、データ通信ができなくなる場合があり、常駐モードを ON にしていても着信しないことがあります。
Wi-Fi スリープを動作させないようにするには「Wi-Fi ロックモード」を ON に設定して下さい。
初期値は OFF になっています。

「常駐モード」を OFF に設定しているとき、NX-SIP クライアントを終了し、登録状態アイコンが消えてから即 NX-SIP クライアント起動させると「SIP 登録失敗」と表示されることがあります。「SIP 登録失敗」が表示された場合は、NX-SIP クライアントを再起動して下さい。
NX-SIP クライアントの再起動は以下のいずれかの操作をおこなって下さい。

- ホームボタン押下後、NX-SIP クライアントのアイコンをタップ
- バックボタン押下後、NX-SIP クライアントのアイコンをタップ
- メニューボタン押下し「終了」をタップ後、NX-SIP クライアントのアイコンをタップ

5.5.2 スマートフォンのダイヤラーからSIP内線端末として発信する

NX-SIP クライアントの設定「発信先選択(スマートフォン)」を選択または SIP に設定することで、スマートフォンのダイヤラーから SIP 内線端末として発信することができます。

手順①
- NX-SIP クライアントを起動し、スマートフォンのメニューボタンを押下する。
- 画面に表示された「設定」をタップする。
- 「詳細設定」をタップする。

手順②
- 「発信設定」をタップする。

手順③
- 「発信先選択(スマートフォン)」をタップする。
- 表示された選択肢から選択または SIP をタップする。

スマートフォンダイヤラーから SIP 内線端末として発信する操作

スマートフォンの電話アプリケーションを起動し、電話番号をダイヤル入力あるいは電話帳から相手先を選択し発信する。

「発信先選択（スマートフォン）」で選択を設定した場合、発信先選択ダイアログが表示されます。

ダイアログから を選択する。

※「発信先選択（スマートフォン）」で SIP を選択した場合は、ダイアログは表示されず、次の操作画面が表示されます。

※ を選択するとスマートフォンのダイヤラーから発信されます。

NX-SIP クライアントが起動し、スマートフォンのダイヤラーで入力した相手先に発信します。
相手の方が応答したら、通話します。

※スマートフォンのダイヤラーから SIP 内線端末として発信するときは、次の設定を必ず行って下さい。
・ユーザネーム
・サーバアドレス
・常駐モード：ON
また、主装置に内線登録していないときは、発信先選択ダイアログは表示されません。

※「発信先選択（アプリケーション）」を選択または 3G に設定することで、NX-SIP クライアントから 3G に発信することもできます。

※GALAXY S SC-02B を使用し、設定データ「発信先選択(スマートフォン)」を「選択」に設定している場合、スマートフォンダイヤラーから発信を行ったときにダイアログが表示されることがあります。ダイアログが表示されたときは「NX-SIP クライアント」を選択して下さい。

5.5.3 発信先選択で設定した発信方法が使用できないとき

発信先選択(スマートフォン)および、発信先選択(アプリケーション)で 3G または SIP を設定したときに設定した発信先が使用できない場合、他の発信先(3G では SIP、SIP では 3G)が使用可能であれば迂回発信することができます。
自動的に迂回発信しないようにするには、「迂回発信(スマートフォン)」および「迂回(アプリケーション)」を確認表示ありに設定して下さい。初期値は確認表示ありになっています。

手順①
・NX-SIP クライアントを起動し、スマートフォンのメニューボタンを押下する。
・画面に表示された「設定」をタップする。
・「詳細設定」をタップする。

手順②
・「発信設定」をタップする。

手順③
・「迂回発信(スマートフォン)」または「迂回発信(アプリケーション)」をタップし、チェックする。

※迂回発信は、発信先選択が 3G または SIP に設定したときのみ有効となります。
※迂回発信を行うには、次の設定を必ず行って下さい。
・ユーザネーム
・サーバアドレス
・常駐モード：ON

主装置に登録していないときに NX-SIP クライアントから迂回発信をする操作

NX-SIP クライアントを起動し、電話番号をダイヤル入力、あるいは電話帳から相手先を選択し、 ボタンをタップする。

SIP 内線端末として発信できないため、迂回発信の確認ダイアログが表示されます。

ダイアログから 3G を選択することで 3G で発信します。

※スマートフォンのダイヤラーから SIP への迂回発信では次のダイアログが表示されます。

スマートフォンのダイヤラーから入力した電話番号で発信します。
相手の方が応答したら、通話します。

※迂回発信ダイアログで発信しないを選択したときは、ホーム画面に戻ります。

5.5.4 外線特番自動付加設定

外線特番自動付加とは、相手先の電話番号の 1 桁目の番号が設定と同じ番号であったときに、自動的に外線特番を付加して発信する機能です。
本機能を使用するには主装置に設定が必要です。詳しくは主装置の取扱説明書を参照して下さい。

手順①
・NX-SIP クライアントを起動し、スマートフォンのメニューボタンを押下する。
・画面に表示された「設定」をタップする。
・「詳細設定」をタップする。

手順②
・「発信設定」をタップする。

手順③
・「外線特番自動付加」をタップし、チェックする。
・「外線プレフィックス」を設定する。
・「付加指定先頭番号 0～9」で外線特番を自動付加する先頭番号を指定する。

※外線プレフィックスは主装置の設定を確認し設定して下さい。主装置の設定と違っている場合、正常に動作しません。